２０２０年８月
在ニカラグア日本大使館

ニカラグア定期報告（２０２０年７月）

【要旨】

内政・外交面では、１９日、４１周年目のサンディニスタ革命記念式典が実施され、オルテガ大統領は約１時間国民向けに演説を行った。８日、ニカラグア政府はホンジュラスからのSICA議長国の引き継ぎ式を実施した。保健省発表によるコロナウイルス感染発生からのニカラグアの累計感染者数は、３，２６６名、累計死者数は１２３名である（８月４日時点）一方で、市民監視団体は感染疑い者累計９，０４４名及び累計死亡者数２，５３７名（７月２９日時点）と発表している。経済面では、英国「エコノミスト」の調査部門インテリジェンス・ユニットが、パンデミックにより２０２０年のニカラグアのＧＤＰ成長率を－８．２％、失業率を＋９．５％になると予測した。

【主な出来事】

１　内政・外交

（１）　ＣＯＳＥＰの次期執行役員選挙

２日、９月８日に予定されている民間企業最高審議会（ＣＯＳＥＰ）の次期執行役員選挙について、マリオ・ハノン農業化学品規定・配給協会（Anifoda）会長が会長職への立候補を表明した。また、８日、マイケル・ヒーリー農牧業者組合（ＵＰＡＮＩＣ）代表も、同会長職へ立候補する旨、表明した。

（２）　最大野党PLCの次期総裁を巡る党内紛争

２日、マリア・オスナPLC総裁は、次期総裁に予定されているミゲル・ロサレスに係る選出手続きに不備があったとして、総裁職を引き渡さないことを表明した。

（３）　バチェレ人権高等弁務官のニカラグアに関する発言

２日、国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）バチェレ人権高等弁務官はオルテガ政権に対して、社会政治危機を終わらせ、COVID-19パンデミックに立ち向かうために、対話を行い適切な対応を行うよう求めた。

（４）　医師団のCOVID-19パンデミックに対する動き

２日、当国医師らは、当国のCOVID-19パンデミック状況に関する３度目のプレスリリースを発表した。３０日、ホセ・アントニオ・バルケスニカラグア医療団体（UMN）代表は、会見の中で、ニカラグアにおけるCOVID-１９パンデミックの第２波が８月に起こる可能性を述べた。

（５）　各国のニカラグアに対するCOVID-19関連援助・取り組み

ア　１日、韓国の科学技術情報通信部、教育部、保健福祉部、韓国パスツール研究所が主催する「科学，情報技術，教育分野における新型コロナ対策に関する第８回特別ウェブセミナー」にニカラグアは参加した。８日、韓国行政安全部は、ニカラグア最高選挙管理委員会（CSE）に対して「コロナ禍における韓国総選挙の政策と経験に関する第９回特別ウェブセミナー」を実施した。

イ　７月の間３回にわたり、インド政府は、ニカラグアに対してCOVID-19関連医薬品及び医療物資を供与した。

ウ　３日、在ニカラグアロシア大使館においてCOVID-19検査キット、マスク、手袋の供与式が実施された。また、ロシア政府は計３万個のCOVID-19検査キットを中米地域に供与した。そのうちニカラグアには５，０００個が供与される予定。

エ　１４日、台湾は当国保健省に、２万枚の布製マスクを供与した。２２日、台湾は当国保健省に酸素吸入機１０台を供与した。３１日、台湾は、当国保健省に、Excelsior Bio-System Incorporation社製COVID-１９簡易検査キット１万個を供与した。

オ　２０日、SICAは、スペイン・アンダルシア州からSICA加盟国に対して酸素吸入機１３０台が供与された旨、発表した。

（６）　国民連合構成団体の全国委員会代表者

反政府勢力である国民連合を構成する７つの団体の全国委員会の代表者各３名が発表された。

ア　市民同盟（ＡＣ）
フアン・セバスチャン・チャモロ（市民同盟事務局長）
ホセ・ダビラ（政治評論家，元駐独大使）
アレリス・ペレス（ニカラグア医療団体（UMD）事務局長）

イ　農民連合（ＭＣ）
メダルド・マイレナ・セケイラ（農民連合リーダー）
ペドロ・ホアキン・メナ（農民連合全国会議メンバー）
フランシスコ・ハビエル・カルモナ（農民連合全国会議メンバー）

ウ　立憲自由党（ＰＬＣ）
ミゲル・アンセルモ・ロサレス（PLC次期総裁予定者）

シルビオ・アメリコ・カルデロン・グエレッロ（元選挙管理委員会委員）
ジミー・ブランドン（PLC 前院内総務）

エ　母なる大地の子（ＹＡＴＡＭＡ）
エリザベス・エンリケス（ミスキート人リーダー）
アネサ・アルフレッド
ジョージ・エンリケス

オ　民主復興党（ＰＲＤ）
サトゥルニノ・セラット（PRD 代表）
ミゲル・モラ（ジャーナリスト，ネットニュースサイト「１００％Noticias」オーナー）
ホセ・ゴンザレス（弁護士）

カ　民主主義のための拡大戦線（ＦＤＮ）
ルイス・フレイ（FDN 代表，元コントラ戦士）
ホセ・パレ（元市民同盟幹部）
ホセ・ガレアノ（元コントラ戦士）

キ　青と白の国民連合（ＵＮＡＢ）
ビオレタ・グラネラ（ＭＲＳメンバー）
タマラ・ダビラ（ＭＲＳメンバー）
アリエル・ソテロ（ＵＮＡＢ学生・青年セクターの１人）

（７）　保健省の病院への医療器具の提供
　６日、マルタ・レジェス保健大臣は、医療器具（人工呼吸機７０個，ベット４０台，超音波器具２８個）を地域統合保健システム（SILAIS）の１９の病院（マナグアでは７つの公立病院が該当）に提供する旨、発表した。

（８）　SICA 議長国への就任
　８日、ニカラグア政府はホンジュラスからの SICA 議長国の引き継ぎ式を実施した旨、発表した。

（９）　国民連合の選挙改革に関する表明
　８日、国民連合は、Twitter を通じて、「選挙改革は，コミュニティの異なるアクターの十分な合意のもと行われるべきである。したがって、我々国民連合を構成する７つの団体は，既成政党だけの秘密の交渉は受け入れられない」との考えを表明した。

２０２０年８月
在ニカラグア日本大使館

（１０）　　政党の法人格獲得の申し込み期間延長

１４日、最高選挙審議会（ＣＳＥ）は、政党が法人格を獲得するための手続きへの申し込み期間を２０２１年６月まで延長する旨、決定した。

（１１）　　海外渡航のための COVID-19 検査費

１７日、当国保健省は、入国時に COVID-19 検査の陰性証明書を求める国に渡航する人々に対し検査の実施を行う旨、発表した。費用は１５０米ドル。

（１２）　　国民連合に係る動き

１０日、国民連合は、未だ参加していない青年・学生グループに対し、全国委員会での投票権を７つ提供する案を示した。２１日、市民同盟（AC）は、当面国民連合の活動からしばらく離脱する旨通告したが、その後「暫定条項」に関する国民連合内での話し合いで成果を得られたとして再統合した。３１日、国民連合は、７つの構成組織がそれぞれ全国委員会に参加する代表者３名のうち１名を若者にすることで合意した。しかし、８月３日、青と白の国民連合（ＵＮＡＢ）の学生セクターは国民連合から離脱する旨発表した。

（１３）　　サンディニスタ革命記念式典概要

１９日、マナグア湖畔の革命広場にて、４１周年目のサンディニスタ革命記念式典が実施された。同式典で、オルテガ大統領は、約１時間の国民向け演説を行った。

（１４）　　国際太陽エネルギー同盟の基本合意署名

１６日、ニューヨークにて、ハイメ・エルミダ・カスティージョ国連代ニカラグア大使は、T.S.Tirumurti 国連代インド大使同席のもと、インドが発足した国際太陽エネルギー同盟（International Solar Alliance）設立の基本合意に署名した。

（１５）　　タピア・アレマン在台湾ニカラグア大使の解任

２２日に発表された大統領令６５－２００によって、ウィリアム・マヌエル・タピア・アレマン氏は１３年間勤めた在台湾ニカラグア大使の職を解任された。３０日、ムリージョ副大統領はタピア前在台湾ニカラグア大使を次期在インド大使に任命した旨発表した。

（１６）　　サンパウロ・フォーラムにおけるオルテガ大統領スピーチ

２８日、サンパウロ・フォーラム設立３０周年を記念するビデオ会議において、オルテガ大統領は１時間以上に及ぶスピーチを行った。

２０２０年８月
在ニカラグア日本大使館

（１７）　　当国政府による入国者に対する水際対策措置

２２日、当国保健省は、疫学的管理強化のため、入国者に対する水際対策措置について発表した。入国時の留意事項は以下のとおり。

ア　入国者に、入国前７２時間以内に実施されたPCR検査の陰性証明書（英語またはスペイン語）の提示を求める。なお、アジア、アフリカ、オセアニアからの入国者に対しては入国前９６時間以内に実施されたPCR検査の陰性証明書の提示を求める。

イ　ニカラグア国籍以外の入国者は、入国時、発熱や呼吸疾患がみられた場合は、入国が拒否される。ニカラグア国籍の入国者は、入国時、発熱や呼吸疾患がみられた場合でも入国できるが、当国政府が実施するプロトコールに従って、自宅での隔離が行われる。

ウ　PCR検査の陰性証明書を提示し、呼吸疾患がみられない入国者は、入国後、国内を自由に移動できるが、入国から１４日間、医療従事者から電話によるフォローアップが行われる。

（１８）　　保健省（ＭＩＮＳＡ）によるコロナウイルス発表概要

８月４日、当国保健省は国内の感染状況について週間レポートを発表した。

ア　７月２８日から８月４日までの間に、保健省は２３０名のCOVID-19陽性及びおそらく陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また１８２名がフォローアップ期間を終了した。

イ　パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計３，２６６名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ　COVID-19感染者及びフォローアップ対象者の大多数は、様々な持病を抱えている。最も多いのは糖尿病、肥満、高血圧、心疾患、免疫不全、慢性腎不全、脳卒中の既往歴、肺結核及び慢性肺疾患である。

エ　この１週間の間に、COVID-19に起因する７名の死亡が確認された。（累計死者数は１２３名）また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

オ　本日（８月４日）までに、２，９１３名のニカラグア人が回復した。

カ　アウトブレイク（感染集団）は、明確に特定された感染経路から発生した。

２０２０年８月
在ニカラグア日本大使館

（１９）　　市民監視団体によるCOVID-19感染状況レポート概要

８月１日、市民監視団体（「Observatorio Ciudadano COVID-19 Nicaragua」）は、７月２３日～７月２９日の期間に関する週間レポートを発表した。

ア　７月２３日～７月２９日の期間に全国で２２５件の感染及び感染疑いが報告され、累計９，０４４名（うちマナグア県３，５０７名）となった。

イ　７月２３日～７月２９日の期間に全国で４８件のコロナウイルス感染者及び肺炎と診断されたがコロナウイルスの感染で亡くなった疑いが濃い死亡が報告され、累計死亡者数は２，５３７名となった。

ウ　７月２９日までに７５６名の医療従事者のCOVID-19感染疑いが報告され、また１０１名の死亡が報告された。

（２０）　　Dialogo Interamericanoによる世論調査結果

民間調査会社Dialogo Interamericanoの世論調査の結果概要は以下のとおり。

【調査方法等】

調査期間：２０２０年７月１日～７月９日
調査規模：全国
調査対象人数：１，０１６人
信頼度：９５％
調査方法：電話

ア　何がニカラグアにとって最も重要な問題であるか。

COVID-19	５１．６％
経済危機	１４．６％
失業	１２．６％
悪い政府	７．５％
政治危機	４．１％
政治家	２．４％
汚職	２．２％

イ　政府のパンデミック対応への評価（１＝最悪、１０＝素晴らしい）

１（最悪）	６０％
１～５	７９．７％
６～１０	２０．３％

ウ　各政党の支持率
無党派　　約７０％
FSLN 党　　１４．８％
※その他野党は４％以下

エ　大統領選で投票するならどこか
国民連合（UNAB、農民連合、AC）　　４９．５％
国民連合（UNAB、農民連合、AC、野党）３１．５％
CxL 党　　約１８％
FSLN 党　　約１５％

オ　大統領選で投票するなら誰か
反政府派なら誰でも　　４１．５％
メダルド・マイレナ（農民連合リーダー）３０．６％
フアン・セバスティアン・チャモロ（AC メンバー）２２．８％
フェリックス・マラディアガ（UNAB メンバー）　　１７．１％
アマヤ・コペンス（学生リーダー）　　約１５％
ダニエル・オルテガ現大統領　　１３．３％

（２１）　　治安関連
ア　２０２０年上半期、国家警察が押収した薬物関連犯罪の犯罪収益の押収総額は、１，１５４万３，６２３米ドル（２０１９年の年間押収総額は１，３３０万米ドル強）である。

イ　９日夜、マナグア県マナグア市サン・フーダス地区に所在するコンビニエンスストアに４人組の強盗が押し入り、現金等を強奪する凶器強盗事案が発生した。

ウ　１１日、北カリブ沿岸自治区の先住民保護区（マジャンガ）の共同体を武装集団が襲撃し、１人が死亡、１人が重傷を負った。

エ　１６日午前、マナグア県マナグア市の複合施設において、産業用爆弾２０個とコカイン４キロを所持していた男が、テロ活動準備罪で逮捕された。

オ　バーゼル研究所は、ニカラグアを「ラテン・アメリカ諸国において，最も資金洗浄とテロ資金供与の危険に晒されている国」と評価した。

カ　３１日、マナグア市内のメトロポリタン大聖堂で大規模な爆発と火災が発生した。

２　経済

（１）　当国政府の医療品に対する課税

民間企業最高審議会（COSEP）は、当国政府が実施しているCOVID-19対策として必須な人工呼吸機、マスクなどの医療品に対する課税の是正を求めている。

（２）　２０２０年上半期の輸出状況

７日付輸出手続きセンター（CETREX）統計によると、２０２０年上半期の当国の輸出額は約１，５８０百万米ドルであり、客年上半期（１，４２６百万米ドル）比約１０．６％増である。また、２０２０年上半期輸出量は、１，３７３百万キロで、客年上半期２．７％増である。

（３）　英国「エコノミスト」の調査部門の経済予測

英国「エコノミスト」の調査部門インテリジェンス・ユニットは、パンデミックにより２０２０年のニカラグアのＧＤＰ成長率は－８．２％、失業率は＋９．５％になると予測した。

（４）　インドEximbankによる病院建設借款協定

２１日、国会は、マナグア市に建設予定のアルド・チャバリィア病院建設のためインド輸出入銀行（Eximbank）との借款協定を承認した。

（５）　台湾Eximbankによる融資

台湾輸出入銀行（Eximbank）は、ニカラグア・台湾間の貿易促進のため、当地主要銀行であるFicohsa銀行と借款協定を結んだ。Ficohsa銀行を通じて、ニカラグアの輸入企業に対して計２百万米ドルの輸入信用を行う予定。

＜主要経済指標＞

	2018年	2019年	2020年		
			5月	6月	7月
ｲﾝﾌﾚ率　（対前年同月）	3.9%	6.1%	2.9%	3.6%	未発表
貿易収支（百万ドル）	▲2,312.4	未発表	未発表	未発表	未発表
輸出FOB（百万ドル）	2,516.9	未発表	未発表	未発表	未発表
輸入FOB（百万ドル）	4,829.4	未発表	未発表	未発表	未発表
海外送金受取額　（百万ドル）	1,501.2	未発表	未発表	未発表	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,261.1	2,397.4	2,727.8	未発表	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）